

# 資料No.4-1

江田島市交流定住促進協議会  
令和5年3月27日

## 令和5年度 江田島市交流定住促進協議会 事業計画（案）について

### 1 活動方針

本市では、人口減少・少子高齢化が急速に進んでおり、人口減少による弊害が税収減、公共交通機関の利用者減、まちづくりの担い手不足など広く悪影響を及ぼしており、このままでは近い将来自治体としての機能維持が危ぶまれる事態にある。こうした状況を改善するため、市内への定住人口の拡大、特に若い世代の定住を促進する。

新型コロナウイルス感染症拡大以降、ライフスタイルの変化により地方回帰志向は依然として高い。ひろしま暮らしサポートセンター（東京都にある県移住相談窓口）によると、地域課題や地域貢献に意欲的な若者の瀬戸内エリアへの関心が高い。江田島市交流定住促進協議会では、市や関係団体等と連携し、市移住交流拠点施設「フウド」を中心とした移住相談対応、企業の誘引・相談対応、市内外の交流を通じて、移住定住促進及び交流人口・関係人口の拡大を目指す。

### 2 事業について

#### (1) 移住交流拠点事業

##### フウド事業

平成29年度から開始し、令和5年度は事業開始6年目に当たる。今後も引き続き、移住交流拠点施設フウドにおいて、イベント・セミナー実施等を通じ、市内外の交流を図る。移住定住促進の拠点としてフウド運営を行う。（外部委託事業）

#### (2) 移住定住事業

移住希望者の相談対応、空き家バンクの物件内覧案内を引き続き行う。市が行う移住促進事業と連携し、移住促進を図る。（外部委託事業）

#### (3) 江田島暮らしイメージツアー

江田島市の近隣市町で働く子育て世帯に向けて、江田島市からでも仕事を変えず、島暮らしを実現できることを訴求するツアーを実施する。「住まい」「生活環境」「子育て環境」等をワンストップで案内し、より具体的な生活イメージの提供や居住環境等の情報提供を行う。

#### (4) その他

その他必要に応じて取組を実施する。

# 資料No.4-2

令和5年度 江田島市交流定住促進協議会 収支予算（案）

## 1 収入の部

（単位：円）

科目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A)-(B)	内 訳	摘 要
1 補助金	6,834,000	6,742,000	92,000	補助金 補助金 (江田島市)	6,834,000 6,834,000
2 受託料	0	0	0	受託料	0
3 負担金	0	0	0	負担金	0
4 雑入	210	210	0	雑入 貯金利息等	210 210
5 前年度繰越金	237,900	551,890	△ 313,990	前年度繰越金 前年度繰越金	237,900 237,900
6 フウド収入	65,750	90,000	△ 24,250	フウド収入 フウド収入	65,750 65,750
合計	7,137,860	7,384,100	△ 246,240		フウド利用料（端数調整あり）

## 2 支出の部

（単位：円）

科目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A)-(B)	内 訳	摘 要
1 事務費	10,000	10,000	0	事務費 消耗品費	10,000 10,000
2 移住交流拠点 運営費	6,967,000	7,069,100	△ 102,100	移住交流拠点運営費	6,967,000
①フウド事業	4,602,000	5,254,100	△ 652,100	①フウド事業費 需要費 燃料費 印刷製本費 光熱水費 水道代 下水道代 修繕 役務費 通信運搬費 手数料 委託料 委託料 賃借料 その他 租税公課費	4,602,000 796,000 36,000 30,000 540,000 80,000 10,000 100,000 160,000 120,000 30,000 10,000 3,586,000 3,586,000 60,000 60,000 0 0
②移住定住事業費	2,365,000	1,815,000	550,000	②移住定住事業費 委託料	2,365,000 2,365,000
3 旅費	10,860	0	10,860	旅費 普通旅費	10,860 10,860
4 婚活イベント支援 事業費	0	255,000	△ 255,000	婚活イベント支援事業費 婚活イベント開催費	255,000 255,000
5 新規ツアー事業費	100,000	0	100,000	新規ツアー事業費 新規ツアー開催費	100,000 100,000
6 委託事業費	0	0	0	委託事業費	0
7 負担金	0	0	0	負担金 負担金	0 0
8 手数料	0	0	0	手数料 手数料	0 0
9 予備費	50,000	50,000	0	予備費 予備費	50,000 50,000
合計	7,137,860	7,384,100	△ 246,240		

# 資料No.4-3

江田島市交流定住促進協議会  
令和5年3月27日

## 「江田島暮らしイメージツアー」について（案）

### （1）概要について

移住施策の取り組みや近年の移住ブームに起因し、本市の移住者数が増加傾向にある。一方で、リモートワークの普及等によるライフスタイルの変化により、移住者の層も多様化し、移住相談の内容も複雑化してきた。しかし、一度の来訪で得られる情報には限りがあり、「島」という特性を持つ本市へ、何度も来訪することは移住希望者にとってハードルとなっている。

このような移住希望者のニーズに応えられるよう、一度の来訪でも島暮らしをより具体的に想像できるようなツアーを実施し、新たな移住者層の獲得を図る。

### （2）目的について

空き家バンク利用登録者の問い合わせとして多い、「住まい」「生活環境」「地域コミュニティ」の紹介をツアーに取り入れ、江田島市の雰囲気を肌で感じることで、実際の生活イメージを具体化し、移住の背中を押すことを目的とする。

#### 移住者にとってのメリット

- ・「住まい」「生活環境」「地域コミュニティ」をワンストップで体験できる。
- ・今後も繋がる可能性のある移住希望者同士、及び地域との交流を深めることができる。

#### 運営側にとってのメリット

- ・本市の移住促進の取り組みを対外的に発信することで、潜在的な移住希望者にもアプローチすることができる。
- ・普段、関わることの少ない地域の人たちとの交流経験を、今後の移住相談に役立てることができる。

### （3）ターゲット

（仕事は変えずに、新しい暮らし方を実現できる比較的移住へのハードルの低い層）

- ・広島市内に在住し、移住後も通勤圏内で働ける30～40代の家族  
（考えられる暮らし方：「のんびり島暮らし」「生活環境重視」）
- ・既に江田島市への移住に興味を持ち、移住を現実的に検討している空き家バンク利用登録者

#### (4) 内容

開催日時	令和5年7月頃
訪問場所 (案)	・子育て世帯向け空き家2軒程度 (のんびり島暮らし派：沖美町，生活環境重視派：中町港近郊) ・どろんこ園（大柿町）
募集人数	3～4世帯（概ね20人）
募集方法	募集チラシを作成の上，空き家バンク利用登録者の子育て世帯へDM

※ツアーの内容については，事前アンケートで参加者のニーズを聞き取り，希望に沿ったコンテンツを設けるなど，臨機応変に実施する。

#### (5) 今後について

今後は内容をブラッシュアップしながら，新たにリモートワーカー向けや首都圏移住希望者等，ターゲットを絞り多様化するニーズに対応したツアーを検討する。